

3年生有明海干潟観察

平成30年5月29日（火）

海洋教育のねらいの一つである「海の自然に親しみ、海に進んでかかわろうとする子ども達を育てる」ために、天領小学校・みなと小学校の3年生で有明海の干潟観察を行いました。

ゲストティーチャーとして、『世界文化資産「三池港」と有明海を学ぶ会』の方々を招き、有明海の干潟に生息する様々な生き物について教えていただきました。

また、地域の方々にも子ども達の安全見守りをかねて参加していただき、子ども達は体験的に「海」について学び、様々な生き物が生息する「海」の素晴らしさを感じ取ることができたようです。



荒尾干潟にみなと小の子ども達と一緒に集合。ゲストティーチャーの方々から干潟観察のポイント説明を受けます。



いよいよ有明海の干潟へ！南北約9.1km、東西約3.2kmに広がる荒尾干潟に子ども達もビックリ。



ゲストティーチャーの方々と一緒に、干潟に生息している生き物を探します。



貝がぎっしりとはり付いた棒から、満潮時には2m以上海水面が高くなるのが分かりました。



石の下、土の中、潮止りなどに、カニやヤドカリ、イソギンチャク、クラゲなどいろんな生き物を見つけました。



子ども達が見つけた生き物について、ゲストティーチャーの方から詳しく説明していただきました。